

## 調査の概要

### 1 調査目的

事業所で働く看護職には、従業員の健康管理、なかでも慢性疾患・メンタルヘルス不全等の病気を持ちながら働いている従業員の職場適応への支援活動が求められている。その中で、健康相談・健康教育は、事業所で担う看護活動としてとても重要な役割であるといわれている。しかし事業所によって、事業の種類や作業内容、作業員構成、雇用されている産業保健スタッフのマンパワーなどにより事業所から求められる役割等に大きな差がある。このような状況下で、事業所看護職がどのような健康相談を行い、そこで生じる問題点や悩みはどのようなものか、その実態を把握し、今後より良い健康相談を実施していくための研修内容を考えていくための資料とする。

### 2 調査対象

昭和63年に実施した「産業看護活動実態調査」に回答してきた有効回収票のなかで、施設名を記入してきた765施設の中から、その4分の1にあたる192施設を無作為に抽出した。そこに勤務する看護職全員、計474名を対象とした。

### 3 調査方法

郵送法を用いた。調査対象となった各事業所に、人数分の自記式調査票と返信用封筒を送付し、個々に返送してもらった。

### 4 調査の時期

平成2年2月に調査票を発送し、3月末日を最終締切日とした。

### 5 調査票の回収状況

有効回収票は、201票。回収率42.4%。無効票1票。締切日を過ぎて、コンピューター集計終了後返送されたものが3票。

### 6 調査の担当

調査票の作成は、産業看護健康相談調査プロジェクトを発足し、調査項目の助言をいただいたきながら検討を行った。調査票の作成までは、調査研究室岩下清子、藤田和夫が担当。集計、分析、調査結果

の執筆は藤田和夫が担当した。

プロジェクトメンバーは、以下の通り。

飯島美世子（相模鉄道診療所）

稲本 佑子（日本飛行機(株)横浜製作所健康管理室）

鈴木 恒子（N T T台東健康管理科）

富山 明子（神奈川県予防医学協会）

南雲 篤子（日本通運健康保健組合保健科健康管理室）

## 7 調 査 票

## 事業所における看護活動状況調査

各位

1990年2月1日  
社団法人日本看護協会

—ご挨拶とお願い—

日本看護協会では、一昨年、産業看護実施状況調査を行ない、事業所における看護職の活動状況を把握いたしました。その結果、看護職が職責をはたすためには、看護職の雇用条件、組織の中での位置付けと権限、研修と支援体制など、改善すべき問題が山積していることが明らかになりました。

今回の調査は、その中でも労働安全法一部改正で、事業所の努力義務として課せられました、健康教育や健康相談活動を進めていく上での実状や問題点を中心に把握し、今後必要とされる研修内容や活動方向を検討するための参考資料を得ることを目的としております。

この調査票は、前回の調査にご協力いただきました事業所の中で、連絡先を記載していただいた事業所の中から無作為に選び、送らせていただきました。

尚、この調査結果は統計的処理をいたしますので、お答えになった方には一切ご迷惑をおかけすることはありません。どうか調査の趣旨をご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。

※ご面倒でも2月末日までに、同封の封筒にてご返送をお願いいたします。

今回の調査は、看護職個人を対象とするものです。貴事業所（貴部署）において産業看護に従事されている看護職全員（但し主たる業務が診療介助である人及び検診関連業務のみに携わっている人を除く）に調査票を配布してください。

秘密保持のため、返信用封筒にはそれぞれが1票ずつ封入して返信してください。

尚、配布した調査票の数が人数分よりも多い場合は棄却してください。また足りない場合は、下記連絡先までご請求ください。追って郵送いたします。

質問の意味が不明の場合は、下記の連絡先にお問い合わせください。

150東京都渋谷区神宮前5-8-2  
日本看護協会 調査研究室  
03-400-8331内線(231)

F 1 あなたの年齢は\_\_\_\_\_歳

F 2 あなたの所持免許は（持っているもの全ての番号に○をつけて下さい）

1. 保健婦    2. 助産婦    3. 看護婦    4. 准看護婦    5. 衛生管理者

F 3 勤労者を対象とする産業看護（健康診断・健康相談・健康教育・職場巡視など）に通算して何年たづさわっていますか。

\_\_\_\_\_年

そのうち今の会社あるいは官庁での勤続年数は何年ですか。

\_\_\_\_\_年

F 4 産業看護に従事する以前に看護職として働いた経験は何年ですか。

（ない方は0年と記入してください）

\_\_\_\_\_年

F 5 産業看護に従事する以前に保健所・市町村役場あるいは病院・診療所で勤務した経験はありますか。

1. ある    2. ない

└─▶勤務年数をお聞きいたします

市町村・保健所に \_\_\_\_\_年間勤務

病 院・診療所に \_\_\_\_\_年間勤務

F 6 あなたの雇用形態は

1. 正社(職)員    2. 非常勤(嘱託を除く)    3. 嘱 託    4. その他 (       )

F 7 あなたは衛生管理者に選任されていますか。

1. は い    2. いいえ

F 8 あなたの職場の直属の上司の職種は次のうちどれにあたりますか。

1. 看護職    2. 医 師    3. 衛生管理者    4. 安全管理者  
5. 事務職(3, 4を除く)    6. その他

F 9 あなたの所属先は

1. 病院併設健康管理部門    2. 健保単一(1を除く)    3. 健保総合(1を除く)  
4. 企業(1を除く)    5. 官公庁(1を除く)

F 10 あなたは診療介助業務に携わっていますか。

1. はい 2. いいえ

F 11 あなたの職場であなたと一緒に仕事をしている看護職は何人いますか。

またいくつの事業所と何人の従業員を対象にしていますか。

看護職（あなたを含めて） \_\_\_\_\_人

対象事業所数（注1参照）

1. 1か所 2. 2か所 3. 3～4 4. 5～9 5. 10～14 6. 15～19  
7. 20～29 8. 30～49 9. 50～98 10. 100～199 11. 200か所以上

対象従業員数

1. 99人以下 2. 100～299 3. 300～499 4. 500～699 5. 700～999  
6. 1000～1499 7. 1500～1999 8. 2000～2999 9. 3000～4999  
10. 5000～9999 11. 10000人以上

（注1）対象事業所数とは、「物の生産またはサービスの提供が業務として行なわれている個々の物理的場所」をいい、同一構内にあれば経営主体が同じである限り一単位とみなします。同一構内にあっても、経営主体が異なれば別の事業所とみなします。

F 12 あなたが仕事を進めていくうえで社内で連携がとれる職種としてはどのような職種がありますか。

該当するもの全てに○をつけて下さい。

1. 常勤産業医 2. 非常勤産業医 3. 精神科医 4. その他の医師  
5. 臨床検査技師 6. 栄養士 7. ヘルスケアトレーナー  
8. カウンセラー（心理相談員） 9. 衛生管理者  
10. その他健康管理に携わる職種（ ） 11. いない

Q 1 あなたは、次にあげる内容の健康相談や健康教育を行なっていますか。行なっているもの全ての番号を記入して下さい。また業務量が多いものと最も重視したいものを1つずつ選んで番号を記入して下さい。

1. 成人病対策 2. メンタルヘルス 3. 職業病予防 4. その他の疾病予防  
5. 健康保持増進対策

行なっているもの全て						
------------	--	--	--	--	--	--

業務量が多いもの	
----------	--

最も重視したいもの	
-----------	--



6. 従業員が個人の健康問題に介入してほしくないと思っている
7. 従業員が仕事の都合で職場を離れられないので時間内に相談に行きにくい
8. 相談に行くことで、不利益をこうむるのではないかという不安を従業員が持っている
9. 上司にことわらなければならないので従業員が気楽に相談にいけない
10. その他 ( )

Q 9 検査値に問題があっても本人に自覚症状がないので問題にしない、指導しても生活習慣を変えようとしない、検診後のフォローの呼び出しに応じない、仕事中心で健康を二の次に考えてしまう等の問題に突き当たる事があるかと思いますが、このようなときあなたはどのような対応策をとっていますか。

Q 10 あなたは集団健康教育・衛生教育を行なっていますか。

1. はい    2. いいえ

↓ S Q 行なっている理由は何ですか。該当するものの番号全てに○をつけてください。

1. 個別指導とは異なった効果がある    2. 個別指導よりも多くの人を対象にできる  
3. 上層部から依頼がある    4. 従業員からの希望がある    5. やることになっている

【Q11からQ15までの間は、集団健康教育・衛生教育を行なっている方のみお答えください】

Q 11 昨年1年間にあなたが関わった集団健康教育・衛生教育の件数は総計何件ですか。また延べ参加人数は何人ですか。

\_\_\_\_\_件延べ \_\_\_\_\_人

Q 12 あなたは集団健康教育・衛生教育に関連してどのような役割をとりますか。該当するもの全てに○をつけてください。

1. 講習会のプランを作る    2. 講師を勤める    3. 講師を依頼する  
4. 受講者の態度変容についての評価を行なう    5. 備品の調達    6. 会場の運営  
7. 受講者の勧誘    8. 受講者への通知    9. 当日の進行    10. その他 ( )

Q 13 教育効果をあげるためにあなたは何か工夫をしていることがありますか。ご自由にお書きください。

Q 14 あなたが集団健康教育・衛生教育を行うとき、困難な事は何ですか。あてはまるものすべてに○を、その中でも最も困難なもの1つに◎をつけてください。

1. 従業員の勤務時間の都合上、集まれる時間がとれない
2. 従業員の関心が低く、集まりが悪い
3. 適当な会場が見つからない
4. 適当な講師が得られない
5. 上層部が必要性を認めない
6. 効果的な集団健康教育・衛生教育ができない
7. その他 (                    )

Q 15 集団健康教育・衛生教育を行ううえで困難を感じたとき、どのような対応策を建てていますか。

【Q16は集団健康教育・衛生教育を行っていない方にお伺いたします】

Q 16 あなたが集団健康教育・衛生教育を行っていない理由は何ですか。該当する番号すべてに○をつけて下さい

1. 集団健康教育・衛生教育は本務ではない



2. 勤務時間の都合上集まれる時間がとれない
3. 従業員の関心が低く集まりが悪い
4. 適当な講師が得られない
5. 上層部が必要性を認めない
6. 職場の仲間の協力が得られない
7. やりかたがわからない
8. 必要だと思わない
9. その他 ( )

【Q17以降は全ての人がお答えください】

【病気をもちながら働いている従業員の職場適応に対してあなたはどのような活動をしていますか】

Q17 本人の適応状況を見に行くことはありますか。

1. いつもある
2. ときどきある
3. ほとんどない
4. まったくない

Q18 従業員に対して就労の仕方について助言することはありますか。

1. いつもある
2. ときどきある
3. ほとんどない
4. まったくない

Q19 従業員の上司から就労のさせ方について相談を受ける事はありますか。

1. いつもある
2. ときどきある
3. ほとんどない
4. まったくない

Q20 人事担当者から従業員の就労のさせ方について、あなたの意見を求められことはありますか。

1. いつもある
2. ときどきある
3. ほとんどない
4. まったくない

Q21 従業員の就労条件の変更について提言する事はありますか。

1. ある
2. ない

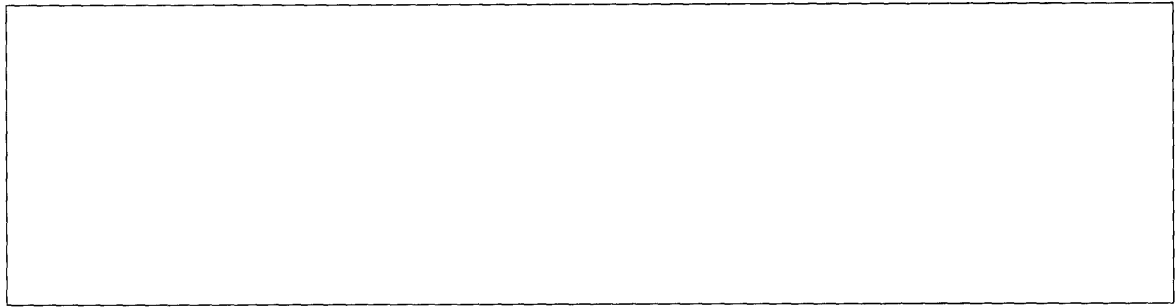
↓SQあなたの助言や提言は尊重されていると思いますか。

1. 大いに尊重されている
2. どちらかといえば尊重されている
3. どちらかといえば尊重されていない
4. ほとんど尊重されていない

Q22 病気をもちながら働いている従業員の立ち場を尊重することと、企業の利益を尊重することとの間の板ばさみに悩むことはありますか。

1. ある
2. ない

↓SQそれはどのようなことですか。具体的にお書きください。



【メンタルヘルスに関する活動についてお伺いいたします】

**Q23** メンタルヘルスに関して次のような問題が持ち込まれることはありますか。

持ち込まれるもの全ての項目の番号に○をつけて下さい。

1. 抑鬱症状
2. 不眠状態
3. 思考障害
4. 意欲の減退
5. 異常行動
6. 職場不適応
7. 出社拒否
8. 妄想・幻覚
9. 心身症（心因性の頭痛，腹痛，めまい，吐き気）
10. 神経症
11. 心気性
12. アルコール依存症
13. その他（            ）
14. 特に持ち込まれることはない

**Q24** あなたはメンタルヘルスに関してどのような活動を行なっていますか。あてはまる番号全てに○をつけてください。また、これから行なう可能性があるもの全てに△をつけてください。

1. 従業員への個別的援助
2. 一般従業員への集団教育
3. 病気の早期発見
4. 管理監督者への集団教育
5. 上司への理解を求める
6. 病院への治療ルート作り
7. 家族へのはたらきかけ
8. 専門家との連携
9. その他（            ）
10. 特に何もしていない

**Q25** メンタルヘルスに関する相談を行なう上で困難を感じるのどのような点ですか。困難を感じている活動の番号にいくつでも○をつけてください。また最も困難を感じている活動1つに◎をつけて下さい。

1. 問題のある従業員とかかわるときの接点の見つけ方
2. 従業員を受け入れてくれる病院を探すこと
3. 従業員の家族との関係のとり方
4. 人事担当者への報告の仕方
5. 従業員にメンタルヘルスの問題を理解をしてもらうこと
6. 従業員の上司に病気の理解をしてもらうこと

1990年事業所における健康相談実施状況調査

- 7. 従業員のプライバシーを保護すること
- 8. 予防活動を行なうこと
- 9. 具体的に何から手をつけたら良いのかわからない
- 10. 他の業務が忙しくてメンタルヘルスの予防・対応策まで行なうこと
- 11. その他 ( )

Q26 メンタルヘルスに関して、適確に対応してくれる医療機関（病院・精神保健センター等）を把握していますか。

- 1. 把握している
- 2. 適確ではないが対応してくれる病院は把握している
- 3. 把握していない

Q27 メンタルヘルスに関する活動で行き詰まったとき、どのような対応策をとっていますか。また活動が行き詰まらないようにするため、日頃どのようなことを考えていますか。

Q28 次のような看護場面で困ったときに適切な援助が得られる人が社内にありますか。また社外にいますか。それぞれの場面ごとに該当する人がいる場合、○をつけてください。

上司の看護職	同僚の看護職	部下の看護職	医師（非常勤も含む）	医療関係者以外の管理	社外
運営方法					
個々のケースへの対応					
集団教育の進め方					
病気の知識					

Q29 産業看護に従事してから研修を受けたことはありますか。

1. ある 2. ない

Q30 勤務時間扱いの研修に昨年（平成元年1月～12月）何回出席しましたか。

1. 研修への出席の機会に恵まれている 2. 研修への出席の機会に恵まれていない
- 1 事業所が全額負担によるもの（ ）回  
2 一部個人負担分によるもの（ ）回  
3 全額個人負担によるもの（ ）回  
4 出席しなかった

Q31 次にあげる研修内容で、あなたがこれから受講したいものはありますか。受講したいもの全てに

○をつけてください。また、特に受講したいもの1つに◎をつけてください。

1. 最新の医学知識（検査に関すること）
2. 最新の医学知識（治療に関すること）
3. 健康教育に関すること
4. 統計・コンピューターを用いた情報処理
5. 保健指導・健康相談に関すること
6. 労働安全衛生法に関すること
7. 産業看護の有り方に関すること
8. 事業所内での働き方に関すること
9. 面接技法・カウンセリング
10. 成人病の栄養指導
11. 労働衛生（VDT, 有害物, 疲労など）
12. メンタルヘルス
13. その他（ ）

Q32 あなたが産業看護で実力をつけるうえで、どのような場が役に立っていますか。またどのような場が欲しいとお考えですか。ご自由にお書きください。

例：別の職場の看護職との勉強会や、以前勤務していた職場の上司や先輩等から話をきく等

Q33 現在、産業看護を行なう上で、業務上の悩みとなっている事は何ですか。ご自由にお書きください。

お忙しい所、ご協力どうもありがとうございました。

尚、記入漏れ等がございますとせっかくのお答えが無効になる場合がございますのご面倒でも、もう一度記入漏れのご確認をお願いいたします。